



茨城県で臨床研修をお考えの皆様へ

茨城県医師臨床研修連絡協議会会長

独立行政法人国立病院機構
水戸医療センター 院長 **山口 高史**

令和3年は我々医療従事者にとって新型コロナウイルス感染症に振り回された1年でした。令和2年の初頭から始まったこの感染症は足掛け3年の長きにわたり我が国の医療環境に大きな影響を与え続けました。一方、研修先を選択する学生諸君にとっても受け入れる医療機関にとっても大変な年だったのは間違いありません。前年の経験からWEB駆使したコミュニケーション作りや情報収集はそれなりの成果があったと感じていますが、学生諸君にとっては自由に施設見学をすることもままならず、また医療機関にとっては対面での面接など様々な制約を受けました。そのなかで、茨城県にとって令和3年の初期臨床研修医のマッチングは、県内20臨床研修病院のうち10病院が募集定員を満たすとともに、昨年に比べマッチ者数が6名増加したことで、平成16年度の制度開始以降、過去最高となりました。これは研修医を受け入れる医療機関、大学、そして県職員の努力のたまものと感謝申し上げます。

一方、本県での医師の実数は確実に増えていますが、人口10万人当たりの医師数は197.4人と全国平均258.8人より60人以上少なく、相変わらず47都道府県中46位です。また医師偏在指数においても42位でいずれにしても医師の希少性が高い県です。それは視点を変えてみれば人口が286万人と全国11位である本県での研修は、若い医師たちにとっては、より多くの経験値を得られる良いフィールドであるともいえます。また、今回のコロナ禍は非常に大変だったものの医療崩壊といわれるような状態には陥らなかったと思っています。これは医療資源の少ない中で行政や医療機関の連携が効率的に機能している賜物と自負していますし研修環境も同様の連携が構築されています。

研修医諸君が将来を見据えた上で、初期研修プログラムを選択しなければならないのは当然ですが、いろいろな憶測や思惑に惑わされずより良い初期臨床研修プログラムを選んでいただきたいと思います。プログラムを提供する茨城県の病院側の我々自身も、これらに対して十分な対応をしていくつもりです。

手前みそですが、前述のように様々な面で、茨城県では、行政である県、研究機関である大学、また実地医療機関である病院、診療所が官民一体となって連携しより良いものを目指して絶えず努力しています。初期研修に続く新専門医制度は、運用で様々に変化していくことが予想されますが、これらの変化に対しても、各研修病院が独自色を出し柔軟に対応していく能力があり後期研修に移行する際の準備も十分に整っています。

今後卒業される医学生の方には、是非茨城県での研修を一考していただきたいと思います。

茨城の豆知識

◆基礎データ

人口	2,860千人	(全国第11位) (2019.10.1)
平均寿命	男性 80.28歳 女性 86.33歳	(全国第34位) (全国第45位) (2015)
総面積	6,097.39km ²	(全国第24位) (2019.10.1)
可住地面積	3,975.37km ²	(全国第4位) (2019.10.1)
住宅敷地面積	394.97m ²	(全国第1位) (2018.10.1)
製造品出荷額	13兆360億円	(全国第8位) (2018)
農業産出額	4,302億円	(全国第3位) (2019)
道路実延長	55,373km	(全国第2位) (2019.3.31)
高齢者居住率	71.9%	(全国第4位) *子どもが同居、同一家庭、同一敷地及び近隣地域に住んでいる65歳以上人口の割合 (2019年)

◆医療関連データ

病院数	実数 173 人口 10万人対 6.0	(全国第33位、全国平均6.6) (2019.10.1)
診療所数	実数 1,749 人口 10万人対 61.2	(全国第45位、全国平均81.3) (2019.10.1)
病床数(病院)	実数 30,854床 人口 10万人対 1,078.8床	(全国第39位、全国平均1,212.1) (2019.10.1)
医師数	実数 5,682人 人口 10万人対 197.5人	(全国第46位、全国平均258.8人) (2018.12.31)
受療率(入院)	884人	(全国第38位)
(外来)	5,162人	(全国第39位) (2017年10月)
一般病床利用率	73.2%	(全国第38位、全国平均76.5%) (2019年)



移住後も気軽に都心へ行くことができます。
上野 水戸 65分
秋葉原 つくば 45分



太平洋沿岸部特有の温暖で穏やかな気候に恵まれ、年間を通して暮らしやすいのがいばらきの特徴です。

茨城県医師会の支援

～2年間は会費無料の医師会に入会して会員のメリットを実感しよう!～



茨城県医師会会長 **鈴木 邦彦**

茨城で医師の第一歩を踏み出される皆様へ

皆さん、こんにちは。茨城県医師会長の鈴木です。研修医の皆様がこの茨城の地で、医師としての臨床研修プログラムを修得され、医師としての礎を築かれることは、茨城県医師会としましても大変喜ばしいことであり、将来的な茨城の医療の底上げと質の向上を構築する上でも、極めて重要であります。

茨城県には、将来またこの地で働きたいと思われるような施設、プログラム、スタッフがあり、日々、医師のキャリア形成を支援し、指導医の養成や地域の医療機関のネットワーク強化などに注力しております。研修医の皆さんが、病院、診療所の協力体制の整った魅力ある臨床研修プログラムを体験されますことを、そして茨城の地で医師としての第一歩を踏み出されますことを心より願ってやみません。

茨城県医師会では、初期臨床研修医の方を対象にした入会金・会費無料の医師会加入制度の他、40歳以下の勤務医会員の入退会・異動の手続きを代行するサポートデスクを設けております。また、医師会の携わる各種研修会や医師会報の購読（WEB）をはじめ、事業協同組合での福利厚生制度などをご利用いただけます。茨城県内研修病院にて勤務されました場合は、全面的にバックアップさせていただきたいと考えておりますので、茨城県での研修にご参加いただけました際は、是非ご検討いただければと存じます。皆様を心よりお待ちしております。

茨城県医師会勤務医入会サポートデスク

- 初期研修医は2年間無料（日本医師会、茨城県医師会、郡市等医師会）となります。また、40歳以下の勤務医の皆様は医師会入会をサポートし、煩雑な入会手続をサポートデスクが代行します。

お申し込みは今すぐこちらへ

勤務医入会サポートデスク

〒310-0852水戸市笠原町489

TEL:029-241-8446

FAX:029-243-5071

E-Mail:kinmuisupport@ibaraki.med.or.jp

茨城県医師会会員のメリット

- 研修医については**会費無料**になります。
- 各種研修会・講演会**受講料無料**になります。
- 茨城県医師会報・会員専用ホームページ・メーリングリストをご利用できます。
- 茨城県医師会協同組合への加入（組合員または賛助会員）ができ、**年会費無料の常陽銀行ゴールドカード**や**入会金・年会費無料の京成百貨店ロイヤルカード**のご利用できます。

日本医師会では、平成27年度より研修医会員の**日本医師会会費（年額6,000円）を無料化**しています。明日の日本の医療を担う研修医の皆様に対し、日本医師会が広く門戸を開き協働を呼びかけるメッセージとしております。

もしも医療事故が起きてしまったら
日本医師会医師賠償責任保険は日本国内での医療行為をサポートします。訴訟や示談など支援

安心できる老後のために
日本医師会年金は一生受け取れる年金で、会員の為の私的年金

医師だと証明することが必要なとき
ICカードの医師資格証や電子証明書を発行

会員を支える安心
日本医師会が用意している様々なサポート

どこにいても大学病院並みのサービスを
日本医師会医学図書館は約99,000冊の蔵書

女性医師が、仕事と育児・家庭を両立するために
医学生や研修医への支援。復職・再研修のサポートをします

分野を問わず、最新の医学・医療を学び続けるために
日本医師会生涯教育制度はeラーニングでの受講も可能。各地で恒常的に開催しています

茨城県医師臨床研修連絡協議会の支援

臨床研修病院合同説明会

医学生の皆さんに情報収集の場を提供するため、県内の臨床研修病院が参加する合同説明会を開催しています。全国屈指の充実した指導体制と魅力ある研修プログラムを紹介します。

各病院の指導医や先輩医師にオンラインで個別相談ができます



指導医養成講習会

充実した臨床研修のためには指導体制の強化が不可欠です。国のガイドラインに基づいた「指導医養成講習会」を開催し、指導医の指導技術の向上を図っています。修了者は約2,000名（2022年3月現在）となっています。

